町民の声

雇用の創出について

一町民より

一昨年４月、町内に大型商業施設が完成しました。数多くのテナントが入り町は活気づいていることは事実であります。また、今年待望の映画館も完成し年毎に賑わいを見せています。

リーマンショック以来、未曾有の不況風が吹き荒れ、日本のみならず諸外国でも一番の心配事が雇用不安ではないかと考えます。

日本においても同様で特に将来ある若い有望な人が大学を出ても、仕事に就けない。

高校生については、さらに難関であり、昔は金の卵と重宝がられた時代がありましたが、もはや夢物語となっております。

せっかく地元に企業施設ができたわけですから、雇用については町としても、地元の人の採用を優先に、強く働きかけてもらいたいものです。

敷地内には、様々な業種のテナントがあり、そこで働いている人の数は計り知れません。

「水と緑豊なパークタウン」を掲げる町づくりにさらなる努力をお願い致したく思います。

子供からお年よりまで「住んで良かった松前町」といつまでも語り継がれる町づくりの現実には、雇用を確保し安心して老後の楽しい生活が送れることが不可欠であります。

町内には東レ愛媛工場、義農味噌、珍味の会社等優良企業があり、町行政に期待をもって見守りたく存じます。

傍聴席

「傍聴席」議会に関心を

徳丸　末岡　武志

本会議・各委員会を何回か傍聴して感じる事は、町政を託した14名の議員の活動ぶりをチェック出来る絶好の機会である筈の議会の傍聴に、町民の参加が一人二人では議会にも活気がなく議員に緊張感を持たせる為にも町民の参加を促したい。

せめて自分の選んだ議員の一般質問・委員会審議を参戦してほしいものである。

行政の監視は議員・議員のチェックは町民。町民の意見を行政に強く要望して貰いたい。

行政も町民・議会の質問に対し予算がないという言葉で逃げないでほしい。町民に対し「予算がない」は禁句である。

傍聴者を増やす方法に、予め年４回の本会議に質問議員の氏名・質問内容を「広報」等で町民に知らせ町政に関心を向けさせ、傍聴者増加に努めてほしい。

自分の選んだ議員の勉強ぶり活動に関心を持つ事は、有権者の権利と義務ではないでしょうか。

町民の議会傍聴が議員に活気と覇気を促す特効薬になり、一般質問・各委員会の傍聴者が２ケタの数になるよう、町民が議場に入り易い環境を作って貰いたい。

議会事務局で「傍聴券」を貰った時にNo.１No.２では議場に入るのに緊張感と勇気が求められる。

本会議・委員会 傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

傍聴の手続きは、議会事務局（庁舎５階）で住所・氏名・年齢を書くだけの簡単なものです。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

（次回は12月上～中旬の予定です）

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。（５００字程度）

宛　先

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
町民の声

FAX　985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp